

てつのみち
和鉄の道・Iron road

大変革の時代を迎えて 日本の源流・たたら遺跡探訪そして未来へ

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から「硬くてねばり強靱な鉄」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。

ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、現在の製鉄法にも負けない高品質の鉄を作り出す技術に高め、維持している日本独自の製鉄技法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約800年の長きにわたってたたら製鉄法の素が続き、その技術をさらに磨き高めながら1500年続いてきた日本独自の製鉄技術である。「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調されるが、その一方で文化を産み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本の国造りを担ってきた。

そんな今、急速な社会変革の中でこの製鉄にともなう数々のドラマが忘れ去られ、日本各地の「たたら遺跡」もろとも消え去ろうとしている。製鉄炉は生産された鉄の取り出し毎に壊されるので、製鉄関連遺跡に残っている濃構はそんな生産設備の残骸。

製鉄関連遺跡にはそんな遺構・生産の痕跡とともに、それに携わった人々の賑わいや数々のドラマ・歴史が周りの美しい景色とともに埋もれて残っています。日本で繰り広げられた数々のドラマそしてその風景を少しでも残しておきたいと「鉄の・Iron Road」として日本各地をCountry Walkしつつ集めています。

鉄は「文化」を育むと共に数々の「戦さ」をも生んだといわれる。

「鉄」の持つ力の証。でも大事なそれはそれを使う人々の力・心。

その根底には、日本人の心の故郷「心優しき縄文の世界」がある。

「鉄」の持つ魅力「鉄のまばゆい輝き・閃光」と「鉄の黒光り・肌光」

その美しさをこれからも大事にしたいと思っています。

「鉄の惑星 地球」の未来へと続く和鉄の道の発信へ

そして今 大気中のCO2 増加による地球温暖化による地球環境変化・地球暴走の危機に直面している。「低炭素社会構築の大変革」が待たなし。

日本の鉄鋼は、極めてCO2 排出量が多く、操業の大変革なしには生き残れぬ危機に。

この新しい大変革の時代に「鉄」はどんな姿を見せるのか・・・

「鉄の惑星 地球」の未来へと続く和鉄の道

インターネットや新聞等からの資料収集しかできませんが、現状取組を発信しつつ地球の未来を考えたい。

